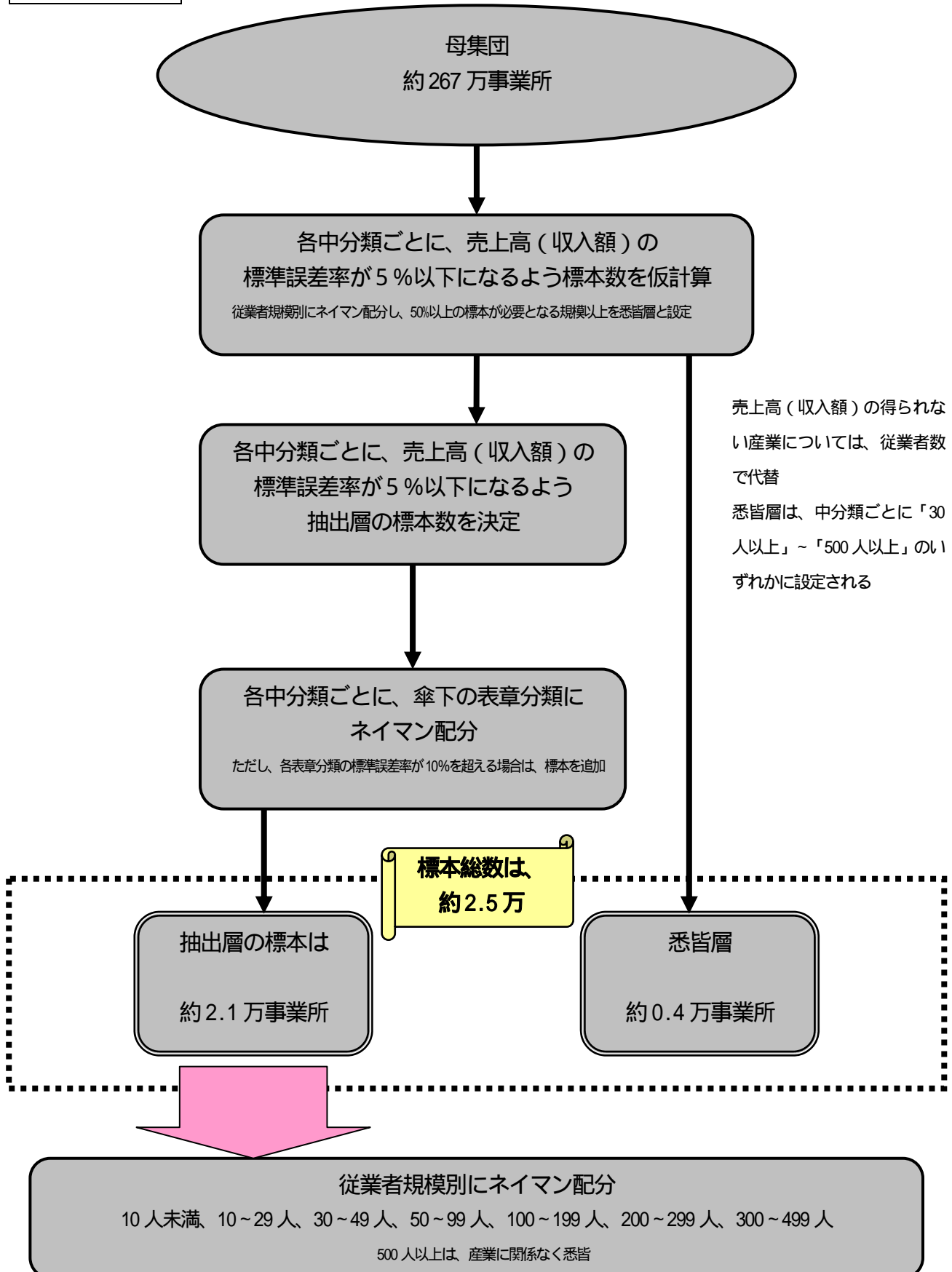


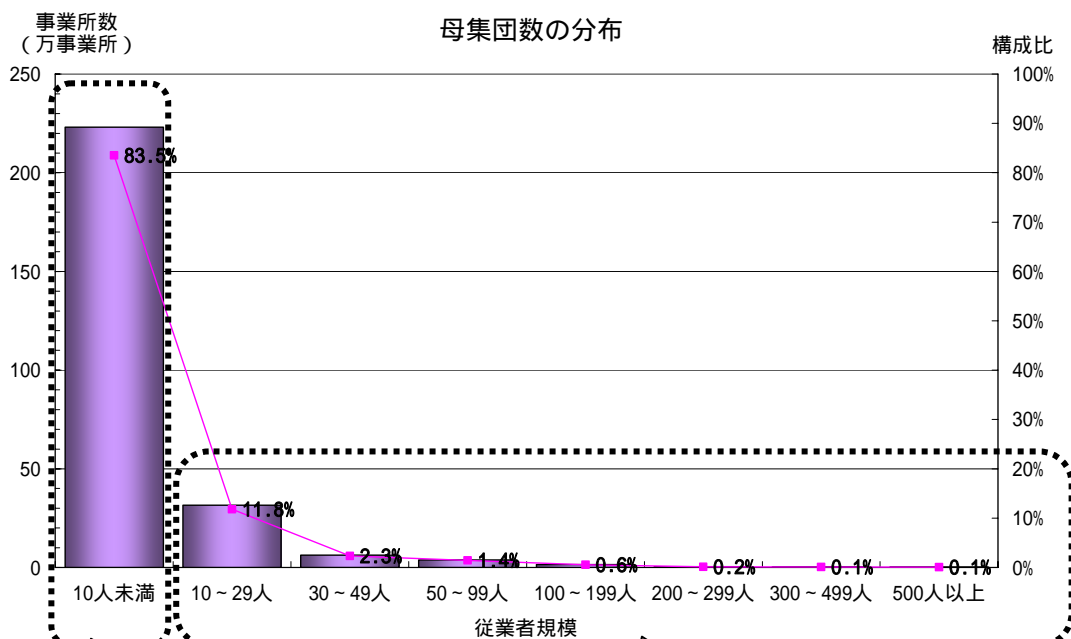
## 調査事業所の抽出方法（案）

## 1. 標本数の設定



## 2. 標本抽出

母集団の分布をみると、下図のように、10人未満が83.5%、10人以上が16.5%となっていることから、従業員規模に応じて、抽出方法を分けて考える。



多段抽出法 (集落抽出を活用)

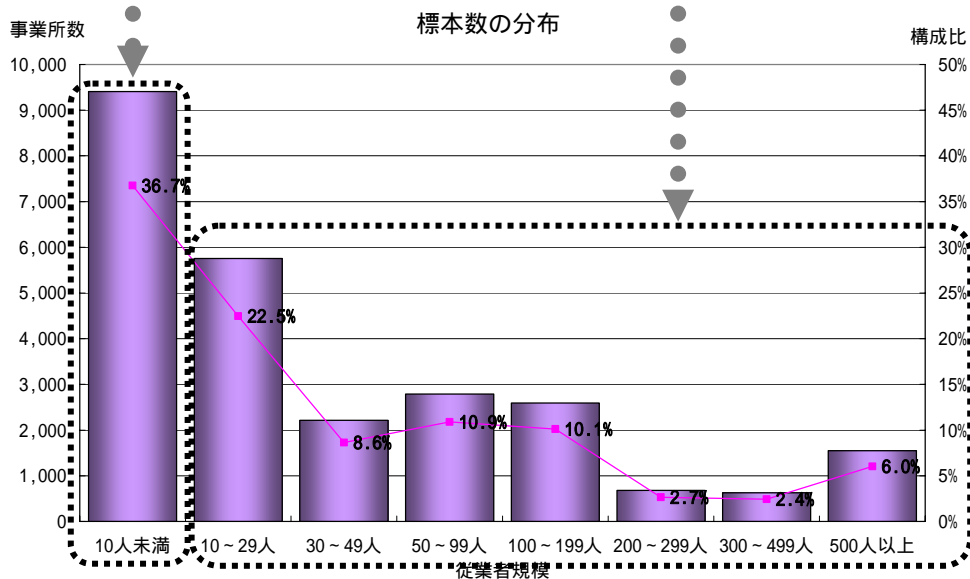
数が多く、地点分散が小

**調査員調査を基本**

層化抽出法 (事業所を直接抽出)

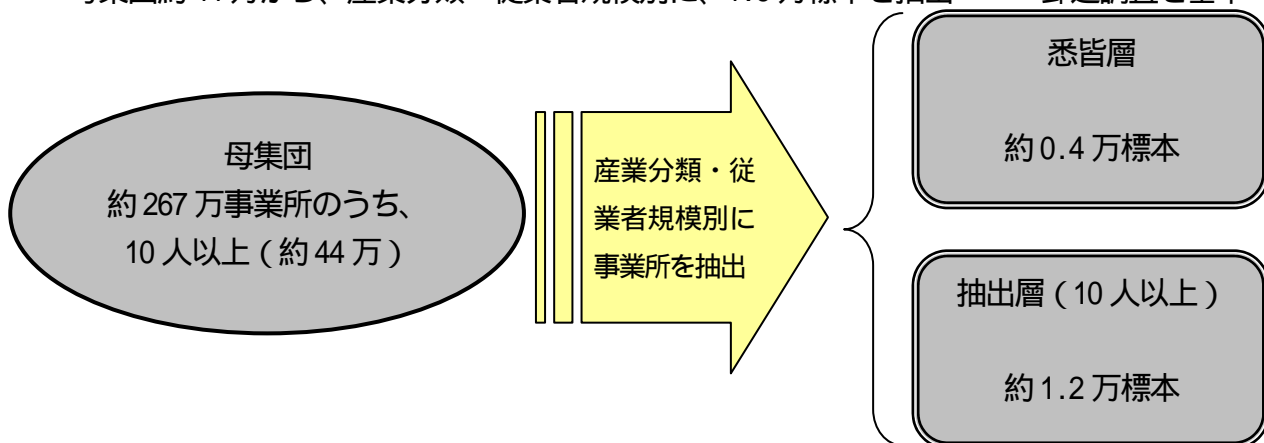
数が少なく、地点分散が大

**郵送調査を基本**



### 10人以上（悉皆層含む）

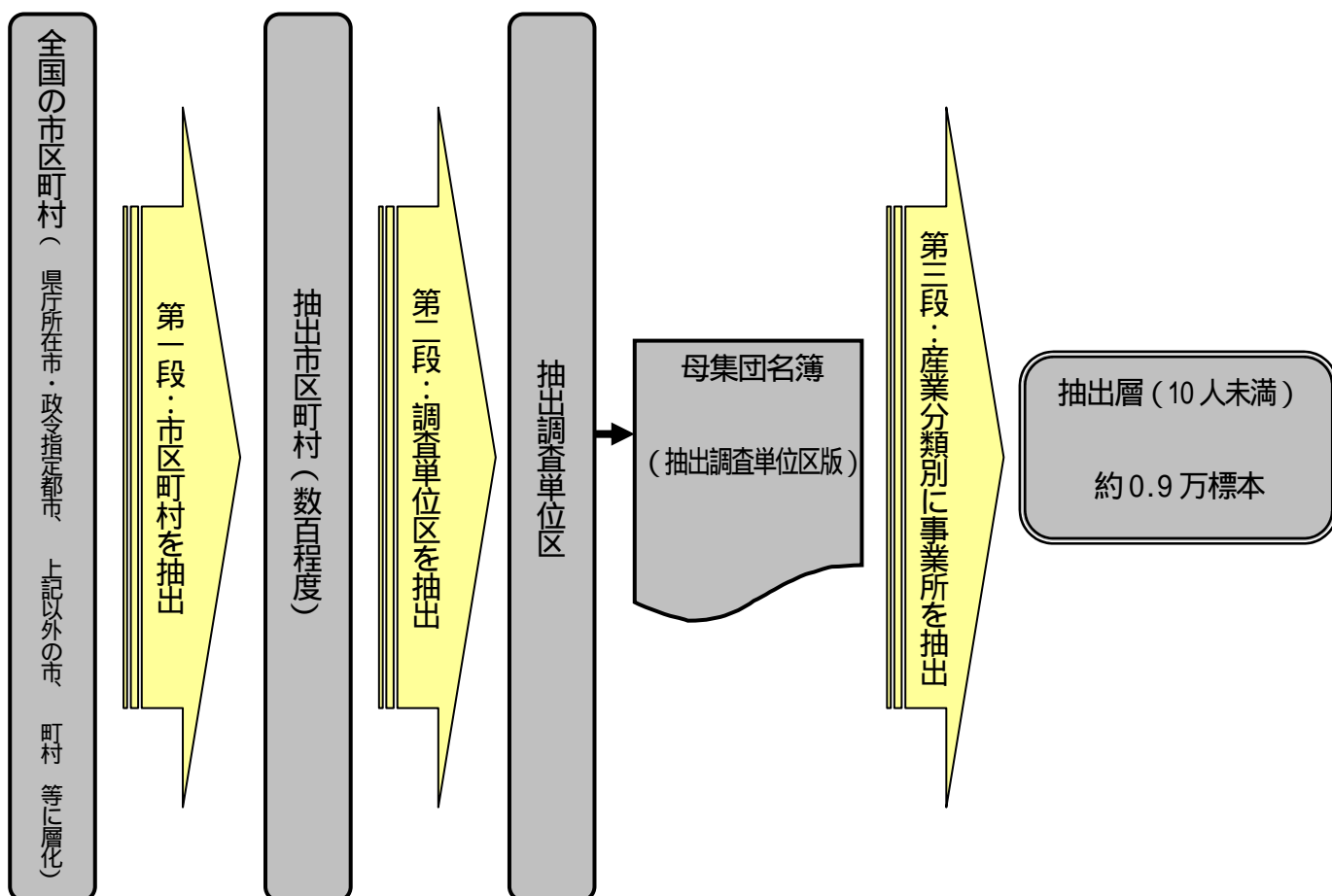
母集団約44万から、産業分類・従業者規模別に、1.6万標本を抽出・・・郵送調査を基本



### 10人未満

母集団約223万から、0.9万標本を抽出・・・調査員調査を基本

都市階級別に市区町村を抽出し（第1段） 当該市区町村から調査単位区を抽出し（第2段）  
当該調査単位区内から、産業分類別に事業所を抽出（第3段）



<注>

- ・ 規定数に満たない産業は、抽出市区町村内の他調査単位区から追加
- ・ 10人未満の標本と同一調査単位区内にある10人以上の標本は、調査員調査に振り替え